

令和4年度「マスク等国内生産・輸入実態把握調査」 調査概要

1. 調査目的

マスク、ゴーグル、フェイスシールド、長袖ガウン、全身防護服、手袋等の個人防護具について、種類別の国内生産量・輸入の動向等の実態を把握し、有事の際の供給確保のための施策の検討等に活用することを目的とする。

2. 調査方法

(ア) 実施主体

株式会社アットグローバル（厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課からの委託事業）

(イ) 調査対象

3. (ア) の調査対象の個人防護具を製造（他社から委託を受けて製造している「受託製造」を含む）又は海外から直接輸入している可能性がある事業者

(ウ) 調査方法

次のいずれかの方法により調査依頼を実施。

- ① 業界団体を通じて調査票を送付
- ② 個別メールにて調査票を送付
- ③ 郵送にて調査票を送付
- ④ 上記①～③で調査依頼をした客体が、自身の関連会社又は委託先に調査依頼を転送送付した調査票については、郵送やメール等で回収。

(エ) 調査期間

令和4年12月5日～令和5年1月31日（調査依頼時の回答期日）

※ ただし、これ以降も協力依頼等を行い可能な限り調査票を回収

(オ) 調査対象客体数・回答数

調査対象客体数：1,004事業者（※1）、回答数：776事業者（回収率約77%）（※2）

※1 調査対象物資を製造又は海外から直接輸入している可能性があるとして調査票を送付した企業の数。

※2 いずれの調査対象物資についても取扱がないと回答があった事業者を含む。

3. 調査内容

(ア) 調査対象の個人防護具

I. マスク

- ① 医療用マスク・サージカルマスク（②の N95 を除く）
- ② N95 マスク（医療用チャンネル向け）※N95 と DS2 の両基準を満たすマスクを含む
- ③ 産業用マスク
- ④ 不織布マスク（ASTM・JIS・EN のいずれかに適合）
- ⑤ 不織布マスク（家庭用、その他）
 - 「医療用マスク・サージカルマスク（N95 を除く）」は、医療機関に納入され、かつ ASTM・JIS・EN（※1）のいずれかに適合するマスクとする。医療機関に納入されていても、ASTM・JIS・EN のいずれにも該当しないマスクであれば「⑤不織布マスク（家庭用、その他）」とする。
 - ※1 ASTM F2100 レベル 1, レベル 2, レベル 3
 - JIS 9001 医療用クラス 1, クラス 2, クラス 3
 - EN14683 タイプ II R, タイプ III
 - 一般向けでも ASTM・JIS・EN のいずれかの規格認証を受けているものは「④不織布マスク（ASTM・JIS・EN のいずれかに適合）」に計上し、一般用に販売向けでかつ ASTM・JIS・EN のいずれにも該当しないものは「⑤不織布マスク（家庭用、その他）」に計上した。

II. ゴーグル・フェイスシールド

- ① ゴーグル
- ② フェイスシールド（フェイスシールド付きサージカルマスクを含む）
 - 医療現場等においても使用されうるものを対象とする。
 - 「フェイスシールド」は、顔面全体を覆うものとし、口元だけを覆うもの（いわゆる「マウスシールド」）は対象外とする。再利用が可能なタイプのものか、完全ディスポーザブルタイプのものかは問わない。

III. 長袖ガウン（ディスポーザブル（使い捨て。以下同じ））

- ① サージカルガウン
- ② アイソレーションガウン（不織布製）
- ③ アイソレーションガウン（プラスチックガウン）
 - 主に医療現場等で使用される長袖ガウン（ディスポーザブル）を対象とする。腕への曝露を防止できないもの（長袖でないもの）は対象外とする。また、リユースの長袖ガウンは対象外とする。
 - 「①サージカルガウン」は、主に手術室、滅菌室、ICU 等で使用するものとする。
 - 「②アイソレーションガウン（不織布製）」は、感染防護用として、診察や簡易的な処置、面会者・患者用等、幅広く使用されている不織布製の長袖ガウンを対象とする。
 - 「③アイソレーションガウン（プラスチックガウン）」は、「②アイソレーション

ガウン（不織布製）」と同じ用途に使用するプラスチック製の長袖ガウンを対象とする。

IV. 全身防護服

- いずれも「フード付きの続服」を対象とする。

V. 手袋（ディスポーザブル）

① 手袋（ポリ塩化ビニル製）

② 手袋（天然ゴム製）

③ 手袋（ニトリル製）

- 医療機器卸業者に向けて出荷したものであって、次のいずれにも該当するものとする。
 - ・ 使い捨て（ディスポーザブル）手袋
 - ・ 厚みが0.20 mm未満手袋
 - ・ 素材がポリ塩化ビニル、天然ゴム又は非天然ゴムの手袋
 - ・ パウダーフリーの手袋

【留意事項】

キット品の中に本調査の対象となる個人防護具が含まれている場合は、それぞれの個人防護具に数量を計上することとする。

(イ) 調査項目

I. 国内生産量（自社（関連会社含む）の（受託）製造）

- 「関連会社」とは「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和51年大蔵省令第28号）第2条第5号の「連結会社」（連結財務諸表提出会社及び連結子会社）を指すこととする。
- 「製造」とは、最終製造工程を指すこととする。輸入したマスクについて国内で検品や包装・表示工程のみを行う場合は、「製造」ではなく「輸入」とする。

II. 日本向けの、海外の自社（関連会社含む）による生産量（製造国別）

III. 輸入量（上記II. は含まない）（輸入国別）

- 自社（関連会社含む）が、海外から直接輸入した場合のみを対象とする。

IV. 国内出荷量

V. 在庫量

- 対象期間の末時点における在庫量とする。
- 自社が市場への出荷可否判定で出荷可とした製品のうち、調査月に連結企業体外の卸売業者等に出荷せず、調査月末（年末）時点で在庫として連結企業体内で

管理・保有している数量とする。

(ウ) 調査対象客体

I. 3. (ア) の個人防護具に関する業界団体等会員企業

- 日本衛生材料工業連合会
- 全国マスク工業会
- 日本医療機器テクノロジー協会 (MT JAPAN)
- 日本防護服協議会
- 日本呼吸用保護具工業会
- 日本保護眼鏡工業会
- 日本防護手袋研究会
- 日本グローブ工業会
- 日本保安用品協会
- 日本医療機器販売業協会
- 職業感染制御研究会

II. 厚生労働省への個人防護具納入事業者

III. 経済産業省設備整備補助事業採択事業者

IV. その他 (受託者によるウェブ調査、国内主要企業、委託先等)

【留意事項】

OEM 製品等、他社に製造を委託している場合は、委託先の製造会社において回答することとする。

(エ) 調査対象期間

- 令和4年1月～12月

4. 調査結果の概要

令和4年の各数量の概要及び経年比較可能な数値について分析した概要は以下のとおり。

■ マスク

I. 医療用マスク・サージカルマスク (N95 を除く)

国内生産量 : 140,787 千枚

国外生産量 : 420,616 千枚

輸 入 量 : 733,261 千枚

国内出荷量 : 1,222,189 千枚

II. N95 マスク (医療用チャネル向け) (N95 認定品)

国内生産量：18,874 千枚
国外生産量：7,099 千枚
輸 入 量：10,598 千枚
国内出荷量 52,184 千枚

Ⅲ. 産業用マスク

国内生産量：10,688 千枚
国外生産量：164,193 千枚
輸 入 量：118,653 千枚
国内出荷量：293,659 千枚

Ⅳ. 不織布マスク（ASTM・JIS・EN のいずれかに適合）

国内生産量：1,253,487 千枚
国外生産量：2,812,869 千枚
輸 入 量：1,484,590 千枚
国内出荷量：6,008,468 千枚

Ⅴ. 不織布マスク（家庭用、その他）

国内生産量：115,256 千枚
国外生産量：3,058,294 千枚
輸 入 量：1,003,541 千枚
国内出荷量：4,140,725 千枚

『別添 2』のうち、経年比較が可能な数値について、

- ・ 医療用マスク・サージカルマスク（N95 を除く）については、国外生産量及び輸入量が減少しており、国内生産量及び国内出荷量が増加している。
- ・ 不織布マスク（家庭用、その他）については、国内生産量及び輸入量が減少しており、国外生産量及び国内出荷量が増加している。

なお、令和 4 年の各数量の客体に対し、前年と比較可能な客体は一定程度にとどまっていることに留意が必要である。

■ フェイスシールド

国内生産量：1,825 千枚
国外生産量：8,880 千枚
輸 入 量：6,344 千枚
国内出荷量：16,421 千枚

『別添2』のうち、経年比較が可能な数値について、国内生産量、国外生産量、輸入量及び国内出荷量が増加している。

■ 長袖ガウン

I. サージカルガウン

国内生産量：－（回答企業数が1社のため非公表とする。）

国外生産量：9,098千枚

輸 入 量：9,519千枚

国内出荷量：19,139千枚

II. アイソレーションガウン（不織布製）

国内生産量：122千枚

国外生産量：6,787千枚

輸 入 量：34,999千枚

国内出荷量：42,819千枚

III. アイソレーションガウン（プラスチックガウン）

国内生産量：2,059千枚

国外生産量：33,970千枚

輸 入 量：47,814千枚

国内出荷量：86,232千枚

『別添2』のうち、経年比較が可能な数値について、

- ・ サージカルガウンについては、国外生産量が減少しており、輸入量及び国内出荷量が増加している。
- ・ アイソレーションガウン（不織布製）については、国内生産量が減少しており、国外生産量、輸入量及び国内出荷量が増加している。
- ・ アイソレーションガウン（プラスチックガウン）については、国内生産量及び輸入量が減少しており、国外生産量及び国内出荷量が増加している。

■ 手袋

I. 手袋（ポリ塩化ビニル製）

国内生産量：0双

国外生産量：－（回答企業数が1社のため非公表とする。）

輸 入 量：2,755,136千双

国内出荷量：2,892,826千双

II. 手袋（天然ゴム製）

国内生産量：0 双

国外生産量：34,166 千双

輸 入 量：104,521 千双

国内出荷量：128,154 千双

III. 手袋（ニトリル製）

国内生産量：0 双

国外生産量：682,654 千双

輸 入 量：1,473,735 千双

国内出荷量：2,158,019 千双

『別添2』のうち、経年比較が可能な数値について、

- ・ いずれの手袋についても、国内生産量が引き続き0となっている。
- ・ ポリ塩化ビニル製については、輸入量が増加している。
- ・ 天然ゴム製については、国外生産量、輸入量及び国内出荷量が減少している。
- ・ ニトリル製については、国外生産量及び国内出荷量が増加している。

5. 留意事項

I. 当調査について

- 今回の調査の回収率が約77%であること、また、調査対象客体が調査対象物資を製造又は輸入している事業者を網羅できているかを確認することが困難である点に留意が必要である。

II. 集計結果について

- 個社情報の特定を避けるため、回答企業数が1社の数値については非公表とする。
- 時点の違いや数量不明等により、「国内生産量」「国外生産量：自社（関連会社含む）が国外で生産した数量」「輸入量」「在庫量」の合計値と「国内出荷量」「輸出量」「当該期の在庫量」の合計値は一致しない場合がある。
- 「国外生産量：自社（関連会社含む）が国外で生産した数量」及び「輸入量」の国別内訳については、各個人防護具の全ての対象期間において、4以上の企業から正の値の数値の記入があった国について、その国名及び数量を記載している。